

高野山真言宗仏前勤行

合掌礼拝	1
懺悔	2
三帰	3
三竟	4
十善戒	5
発菩提心	6
三摩耶戒	7
開経偈	8

般若心経	9
十三仏真言	14
光明真言	21
御宝号	23
祈願	24
回向	25

合掌礼拝 (三礼／さんらい)

うやうやしく みほとけを 礼拝したてまつる

おん さるば たたーがた
はんなまんな のうきやろみ

懺悔 さんげ

頭 無始よりこの方 助 貪瞋痴の煩惱にまつわれて 身と口と意とに 造る

ところのもろもろの 助 つみとがを みなことごとく 懺悔したてまつる

頭 我昔所造諸悪業 皆由無始貪瞋癡

従身語意之所生 一切我今皆懺悔

金一丁

三帰 さんき

頭 この身 今生より 助 未来際を尽くすまで 深く三宝に 帰依

したてまつらん

頭 弟子某甲 助 盡未来際

帰依仏 帰依法 帰依僧

(三反)

金一丁

三竟 さんきやう

頭 この身 今生より 助 未来際を尽くすまで ひたすら三宝に

帰依したてまつり とこしなえに かわることなからん

頭 弟子某甲 助 盡未来際

帰依仏竟 帰依法竟 帰依僧竟

(三反)

金一丁

十善戒 じゅうぜんかい

頭 この身 み 今生より こんじょう 未来際を尽くすまで みらいさい 十善の じゅうぜん みおしえを まも 守りたてまつらん

頭 弟子某甲 でし むこう 盡未来際 じん みらいさい 不殺生 ふ せつしやう 不偷盜 ふ ちゆうとう

不邪淫 ふ じゃいん 不妄語 ふ もうご 不綺語 ふ きご 不惡口 ふ あつく

不両舌 ふ りやうぜつ 不慳貪 ふ けんどん 不瞋恚 ふ しんに 不邪見 ふ じゃけん

(三反)

金一丁

発菩提心 ほつ ぼだいしん

頭 白淨の信心を びやくじやう しんじん 発こして お 無上の むじやう 菩提を求む ぼだい もと 願わくは ねが

自他もろともに じた ほか 仏の道 みち を悟りて さと 生死の海 しやうじ うみ を渡り わた すみや

かに解脱 げだつ の彼岸 ひがん に到らん いた

頭 おんぼうじ 助 しった 助 ぼだはだやみ (三反)

金一丁

三摩耶戒 さんま やかい

頭 われらは 助 みほとけの子なり こ ひとえに 助 如来大悲の本誓 にょらいたいひ ほんぜい

を仰いで あお 不二の浄信 ふに じやうしん に安住し あんじゆう 菩薩利他 ぼさうりた の行業 ぎやうごう を励みて はげ

法身 みほとけ の慧命 いのち を相續 そうぞく したてまつらん

頭 おん 助 さんまや 助 さとばん (三反)

金一丁

かいきようげ
開経偈

無上甚深微妙の法は 百千万劫にも遭い遇うことかたし われいま見聞

し受持することを得たり 願わくは 如来の真実義を 解したてまつらん

無上甚深微妙法

百千万劫難遭遇

我今見聞得受持

願解如来真実義

金一丁

はんになしんぎよう
般若心経

般若心経は 仏教の精要 密蔵の肝心なり このゆえに誦持講供

すれば 苦を抜き 樂を与え 修習思惟すれば道を得 通を起

こす まことにこれ 世間の闇を照らす明燈にして 生死の海を

渡すいかだなり 深く鑽迎し至心に 読誦したてまつる

ぶつ せつ まーかーはんになしんぎよう
佛説摩訶般若波羅蜜多心経

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五
蘊皆空度一切苦厄舍利子色不異空空不
異色色即是空空即是色受想行識亦復如
是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨

ふーぞうふーげんぜーこーくうちゅうむーしきむーじゆそうぎようしきむーげん
不増不減是故空中無色無受想行識無眼
にーびーぜっしんにーむーしきしゅうこうみーそくほうむーげんかいなしい
耳鼻舌身意無色聲香味觸法無眼界乃至
むーいーしきかいむーむーみようやくむーむーみようじんないしーむーろーしー
無意識界無無明亦無無明盡乃至無老死
やくむーろーしーじんむーくーしゅうめっどうむーちーやくむーとくいーむー
亦無老死盡無苦集滅道無智亦無得以無
しよーとっこーぼうだいさったーえーはんにやーはーらーみーたーこーしんむー
所得故菩提薩埵依般若波羅蜜多故心無

けーげーむーけーげーこーむーうーくーふーおんりーいっさいてんとうむー
罣礙無罣礙故無有恐怖遠離一切顛倒夢
そうくーぎようねーはんさんぜーしよーぶっえーはんにやーはーらーみーたーこー
想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故
とくあーのくたーらーさんみやくさんぼーだいこーちーはんにやーはーらーみー
得阿耨多羅三藐三菩提故知般若波羅蜜
たーぜーだいじんしゆーぜーだいみようしゆーぜーむーじようしゆーぜーむーとうどう
多是大神咒是大明咒是無上咒是無等等
しゆーのうじょいっさいくーしんじつふーこーこーせっはんにやーはーらーみー
咒能除一切苦真實不虛故說般若波羅蜜

たーしゆーそくせっしゆーわっ
多咒即說咒曰

ぎやーていぎやーてい はーらーぎやーてい
羯諦羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦

ぼうち そわか
菩提薩婆訶

はんにやしんぎよう
般若心經

じゅうさんぶっしんこん
十三仏真言

(各三反)



不動明王

のうまくさんまんだ ばざらだん せんだ

まかろしやだ そわたや うんたらた かんまん

金一丁



釈迦如来

のうまくさんまんだ ぼだなん ばく

金一丁



文殊菩薩

おん あらはしやのう

金一丁



普賢菩薩

おん さんまや さとばん

金一丁



地藏菩薩

おん かかかび さんまえい そわか

金一丁



弥勒菩薩

おん まいたれいや そわか



薬師如来

おん ころころ せんだり まとうぎ そわか



観世音菩薩

おん あろりきや そわか



勢至菩薩

おん さんざんさく そわか



阿弥陀如来

おん あみりた ていせい からうん



阿閼如来

おん あきしゅびや うん

金一丁

金一丁

金一丁

金一丁

金一丁

金一丁



大日如来

頭

おん あびらうんけん ばざら だとばん

助

金一丁

虚空蔵菩薩

頭

のうぼう あきやしや きやらばや

助



おんありきや まりぼり そわか

金一丁

こうみょうしんごん

光明真言

頭

となえたてまつる光明真言は 大日普門の万徳を 二十三字

助

に集めたり おのれを空しゅうして 一心にとなえたてまつれ

ばみほとけの光明に 照らされて 三妄の霧おのずからはれ

まよいきり

浄心の玉 明らかにして 真如の月 まどかならん

じょうしんたま

あき

しんにょつき

まどかならん

頭

おん あぼきや べいろしやのう

助

まかぼだらまに はんどま じんばら

はらばりたや うん

(七反)

金一丁

御宝号

高野の山に身をとどめ 救いの み手を垂れたもう おしえの

みおやに 帰依したてまつる 願わくは 無明長夜の闇路を

照らし 二仏中間の我等を導きたまえ

南無大師遍照金剛

(七反)

祈願

至心発願

天長地久

即身成仏

密厳国土

風雨順時

五穀豊穰

万邦協和

諸人快樂

乃至法界

平等利益

回向

願わくは この功德をもって あまねく一切に及ぼし われら

と衆生とみなともに 仏道を成ぜんことを

願以此功德

普及於一切

我等与衆生

皆共成仏道

※ 青色文字の部分は読みません。

※ 頭の部分を経頭が読み、助から全員で一緒に読みます。

※ 金一丁は金を一度打つ場所です。

※ 金二丁は二度、金を打ちます。

平成二八年五月改版

高野山真言宗仏前勤行次第